

第3回江南市下水道事業経営審議会 議事録（概要）

会議名 : 第3回江南市下水道事業経営審議会

開催日時 : 令和4年1月18日（火） 午前10時～午前11時15分

場所 : 江南市役所 3階 第3委員会室

委員 : 出席委員8名（欠席2名）

鈴木 貢 （市議会議員）

浅野 敏夫 （各種団体）

小川 隆史 （各種団体）

古田 みちよ （各種団体）

奥村 真也 （学識経験者）

横山 幸司 （学識経験者）

深尾 俊一 （公募市民）

水野 裕子 （公募市民）

（欠席）掛布 まち子 （市議会議員）

（欠席）柴田 喜充 （各種団体）

事務局 : 古田（水道部長）

伊藤（下水道課長）

吉本（下水道課主幹）

今枝（下水道課計画工務グループリーダー）

青山（下水道課雨水排水グループリーダー）

大池（下水道課業務・経営グループリーダー）

瀬川（下水道課業務・経営グループ）

傍聴人数 : 0人

資料

資料1 経費削減の取り組み及び水洗化率の向上について

資料2 下水道使用料改定案

議題

1 経費削減の取り組み及び水洗化率の向上について

2 下水道使用料改定案について

1. 開会

2. 議題

(1) 議題 1. 経費削減の取り組み及び水洗化率の向上について

- 事務局： ～資料 1 について説明～
- 委員： 水洗化率の向上について、戸別訪問を実施しているとあるが、実績はどうなっているか。どのぐらい訪問して、どれぐらいの方に接続してもらっているのか、数値目標はあるか。実績を積み上げるには目標は大事である。
- 事務局： 目標は立てていない。コロナ禍であり、思うように訪問できないところもあるが、今年度は供用開始から 3 年以内のところを中心に約 500 件訪問した。
- 委員： 区長が集まるような機会に区長へ依頼しているか。
- 事務局： 現在は依頼していない。コロナ禍で区長の活動も難しくなっている。
- 委員： 戸別訪問も大事だが、区長へ依頼するのも有効と考えるので、そのような機会があれば活用することも検討してほしい。また、水洗化率が下がっている原因は何か。
- 事務局： 水洗化率については、近年整備量を増やしている関係で下がっている。

(2) 議題 2. 使用料改定案について

- 事務局： ～資料 2 について説明～
- 会長： パブリックコメント前の最後の審議会となるので、本日審議会としての意見を決定したいと思う。欠席委員から意見票が提出されているので先に報告してもらい、その後皆さんの意見を聞きたい。
- 事務局： 欠席委員 1 名からの意見の報告
 - ①パターン B は過渡期の市民負担軽減の側面は理解するが、他パターンに比べ R 5～8 の間、40 百万円/年程度の収益減となる。一般会計繰入の早期是正、R 9 改定幅抑制の観点から、R 5：135 円（税抜）の案に賛同する。
 - ②パターン A、C、D の選択にあたっては、現使用者への影響（配慮）の視点に加え、新体系の区分ごとの調停件数を今後どうしていくのか、いきたいのか（例：水洗化率向上のターゲットはどこか）意思の表れとも理解する。
大口使用者件数の増加が重要なターゲットとの意思であれば A 案を支持する。
- 委員： B 案にして水洗化率を上げるのも一つの考え方だと思うが、使用料の適正化という観点では B 案以外となる。

4人家族で2ヶ月で40㎡ぐらい使用しているが、その部分の実際の料金をみるとA案、C案、D案でもあまり変わらない。大口利用者へ配慮するのであれば、A案かD案となるが、偏り過ぎてもいけないのであればD案となる。

- 委員：大口利用者への配慮がない点でC案ではなく、A案かD案がいいと思う。大口利用者への配慮がA案よりは控えめという点でD案がいいのではないか。
- 委員：先日テレビでも下水道のことが取り上げられており、それを見た方には値上げすることはある程度認識してもらえたのではないか。大口利用者へ配慮したほうがいいと思うので、A案がいいと思う。
- 委員：A案かD案がいいと思っていたが、大口利用者が配慮してもらったほうが加入しやすいということであれば、大口利用者の加入促進の観点からA案がいいのではないか。個人的には大口利用者へ配慮する必要はないと思っていたが、今後の接続のことを考えるとA案でいいと思う。
- 事務局：大口利用者は少ないが、接続してもらえると収益としては大きい。大口利用者をターゲットにするのであれば、配慮をしていただいたほうが話はしやすい。今後企業が江南市へ進出する際にもいいのではないかと思う。
- 委員：令和9年の150円が目標とすれば、その間どの程度の上げ幅とするのか。市民感情からすると上げ幅は抑制した方がいいが、損益の観点からは収益が後にずれることになる。それでも市がやれる状況であれば、B案がいい。その上で大口の配慮等細かいところは色々な見方があると思う。市民目線からすると現状B案がいい。
- 委員：同じく市民目線から考えるとB案がいい。
- 委員：使用水量として、どれぐらい使っている人たちが多いのか。また、五条川右岸地区の市町と比較してあまりにも格差がでるのも市民目線からするときつい。150円を目指して進めていくことは理解するが、江南市だけが先行して値上げすることにならないか心配。市民の理解を得て上げていくことが大事。その観点からするとB案がいいと思う。近隣も上げていくという情報をつかんでいけばいいが、江南市だけが下水道使用料が突出して高いということにならないか、全体的なバランスを見る必要があるのではないか。
- 事務局：使用者群の分布は、第2回の資料7頁に掲載してある。(数字を読み上げ)

下水道の整備の際に国の補助を受けるに当たって、使用料の改定を行っていないと重点的に配分されない状況になってきている。他

の自治体も料金改定を検討しているということは聞いており、ここ数年で150円を目指す動きになってくると思われるので、江南市だけ突出して高いということにはならないのではないかと。また、近隣といっても整備時期、整備状況等が違うので比較は難しい。整備状況が同じようなところは今後料金改定を検討していかざるを得ないと思う。

- 会 長： 使用者の分布をあらためて聞いたが、50～60 m³の使用者が多い。その使用者群や一般家庭の環境を考えるとD案のほうが若干低い。大口の利用者のことをD案も配慮はしているので、個人的にはD案がいい。市民感情等この数年間をどうするか。政治判断になるところもあるが、審議会の意見としてはD案がいいのではないかと思うが、あらためて皆さんの意見を伺いたい。
- 委 員： 基本的にはD案だと思うが、水洗化率が低いので、そこを上げるという観点で言えば、他の委員さんがおっしゃるように、水洗化率の目標を定め、R5年度の改定率を抑えたB案という選択肢もあると思う。R9までは水洗化率の向上に取り組むという考え方があるのであれば、B案だがそれがなければD案でいいと思う。
- 委 員： 戸別訪問の目標について質問した意図は、めざす姿に向け、それを実現するために具体的にどのような行動をとるか、その結果から見直していくということは、常に行っている。従って目標は重要なことだと思うが、コロナ禍で達成は難しい側面もあるかもしれない。そこら辺を差し引いて中庸ではないが、D案がいいと思う。
- 委 員： A案がいいと思う。
- 委 員： 大口利用者は浄化槽の耐用年数等考えるとまだまだ接続は先になるのではないかと思うが、いつ頃接続してもらえるか見込みはあるのか。

市民目線でいくとB案という意見もわかるが、B案とすると企業会計として4年間は年間4,000万円程度不足することになり、その分は税金で補てんすることになる。使っている人からすると安いほうがいいに決まっているが、そうすると浄化槽を使っている人達から不足分をもらうようなことになる。下水道事業としてはそこをなるべく抑えたいという観点で135円がでていると思う。政治判断になるところもあると思うが、選ぶとするとD案がいい。

- 委 員： 前回の選択肢であれば、135円、150円もやむを得ないと思っていたが、今回事務局として、B案を出したのであれば、B案でもできるということではないか。企業として利益を生まないといけな

は思うが、総合的に考えてこの案を作ったのであれば、令和9年からはやむを得ないと思うが、市民負担を考えればB案がいい。

○委員： 色々な立場で考え方が違うのがわかった。浄化槽から下水への接続が大事であり、市民目線で考えるとB案がいいが、急激に上がるということを考えるとD案がいい。

○委員： 大口利用者が令和9年度までに接続する見込みがあるのであれば配慮は必要だが、近いうちに接続してもらえるのであれば改めて検討しないといけないのではないか。

令和9年に150円にするのが適切かどうかは現段階ではわからないので、市民目線で考えてB案がいい。

○会長： 出席委員8名の意見をまとめると、A案が1名、B案が2名、D案が5名となるので、審議会の意見としてはD案とさせていただきたい。一方で、多くの委員のみなさんからご指摘のあったように、未接続世帯への訪問を増やすとか、大口利用者に接続を確約してもらえるよう努力してもらおうことを引き続き同時進行でお願いしたい。

(3) 議題3. 今後のスケジュールについて

○事務局： パブリックコメントは3月1日から3月31日を予定している。次回会議は5月に開催予定。

3. 閉会